

すぽんどういせ

品川区教育委員会 “スチューデント・シティ” 区内全小学校の5年生が体験

品川区教育委員会では、平成15年度から、保護者や企業の人たちの参加・協力のもと、子どもたちが社会や経済の仕組み、地域における個人の役割を理解していくために、学校の中に、実際に近い街と店舗を再現し、経済活動を体験的に学習する「スチューデント・シティ」をスタートさせました。

この「スチューデント・シティ」では、「総合的な学習の時間」の授業の一環として、区内のすべての小学校5年生を対象にプログラムを展開しています。



「銀行」「警備会社」「コンビニ」「スポーツ用品店」など「本物」の店舗や事業所が並んでいる。(品川区立八潮南小学校内)

「スチューデント・シティ」を使った「総合的な学習の時間」のプログラム(全15時間)

1 事前学習(8時間)

- ・「仕事をする意味」「銀行の役割」「税金について」「コスト・利益の関係」などの基本的な事項
- ・「電子マネーの使い方」「帳票の記入の仕方」などの実際的な内容
- ・人に対する接し方や自分が受け持つ仕事の具体的な方法や手段、望ましい消費者としての心構えなど

2 当日(6時間)

(土曜日の午前9時から午後3時まで)

- ・事前学習をした内容を実際の経済活動体験を通して、試しながら学ぶ

3 事後学習(1時間)

- ・わかったことや疑問に思ったこと、自分の将来の生き方などについて話し合ってみる

品川区教育委員会は、「社会に自らかかわろうとする力」の育成を「総合的な学習の時間」の柱とし、実社会を実感する学習を目指している。

当日は、5年生の保護者(10~15名)もボランティアとして参加。子どもたちが家に帰ってからここの体験を親と話すことも大切にしている。



「区役所」では、子どもたちが住民登録をする。区長も5年生。



社員への給与や警備会社への経費を「銀行」で支払う。



子どもたちは、店舗経営者や企業の社員と消費者の役を交代で務める。

【子どもたちの声】

- ・大人の体験ができて嬉しい。
- ・働くことは責任があるんだ。
- ・お金は大切に使いたい。
- ・働いている親に感謝したい。
- ・家計に興味をもつようになった。
- ・あいさつの大切さがわかった。

※「スチューデント・シティ」は、品川区教育委員会とNPO経済教育団体「ジュニア・アチーブメント」とが共催して取り組んでいる事業です。